

【2周目発生時の運用】

（目標）お弁当、ビリヤニ、パンや青果はなるべくバラして多くの方に行き渡るようにする

（例）お弁当500食 －（18時時点で並んだ方400＋スタッフ数4＋ならむず20＋医療相談数2＋生活相談数2）＝お弁当72個あまり、その他にも野菜、パンなどがあるというケース

お弁当が72あまるということは、およそ2倍の数142個が余るという考え方（ビリヤニはブレ幅があるので、残数は現場で数えてから考える）。本来のセットをバラしてひとりでも多く行き渡るようにする

ただし賞味期限まで十分にあるパンの代替品（アルファ米や缶入りパン）は、2周目の配布の対象としないで回収し、次回以降の炊き出しで配布する

↓2周ある場合に備え、リーダーは2周発生時に
列整備にあたる係を考えておく必要がある。

① 2周目の利用者への周知声掛け および

② カウンター

合計2名

整理誘導班	配食班
17:55 清野さんと相談し2周目の有無を決定 ↓ リーダー：Buddycomまたは口頭で配食班にも周知	
17:58 並んでいる利用者で、数的に何かはお渡しできそうな範囲の方に限りアナウンスする（森の中担当） （開始直後） 時計塔下での掛け声の内容 <u>（注意）ここの声掛け係の本来の役割は医療班、生活班へつなげるための声掛けなので、2周目のことが主な掛け声にならないよう気を付ける必要がある</u> 「本日はお弁当とパンセットに若干のあまりがあります。お弁当だけ、お野菜だけ、またはパンセットだけになる可能性もありますが、ご希望の方は2周目お並びいただけます」 1周目最後尾看板スタッフは目印となるためそのまま配食場まで利用者と一緒に進む	18時時点でカウンターから報告が上がって来た数字を参考にし、残ったお弁当やその他の食品を配るプランを立てて、「具体的な配布可能数」を整理誘導リーダーに共有する

2周目

この時、利用者は1列に並んでおり、配布時も1列で進んでいただく

2周目を整理するスタッフ（2名）

① ベテランスタッフ（声掛け担当）

② スタッフ（カウント担当）

2名ともBuddycomを装備できて、リーダーと連絡を密に取れる方

を配置し伸びて行く列を誘導していく

※園内で他団体の異例の活動がある場合、列が乱れ、横入りがある可能性があり、数が狂うことはある

声掛け担当

①「お弁当、パン、その他の中からひとつお選びいただくことになると思いますので、その場にあるものをお取りいただくことになりますことをご承知ください」

②「最後の方はもしかしたら残ってないかもしれませんが、それでも良ければ並んでください」

③「なくなったら終わりです、それでもいいですね」

と確認・伝えながら並んでもらう

カウンター担当

1周目最後の方（最後尾看板担当がいるところ）の後ろに並んだ方からカウントし、適宜リーダーへ人数共有する

2周目が始まったら、弁当、ビリヤニ（あれば）、パンと青果のコーナーを作り、利用者にどれか1つを選んでもらう

すべて配りきったら終わりとし、もっていない方にはお帰りいただく（QUOカードの配布はしない）